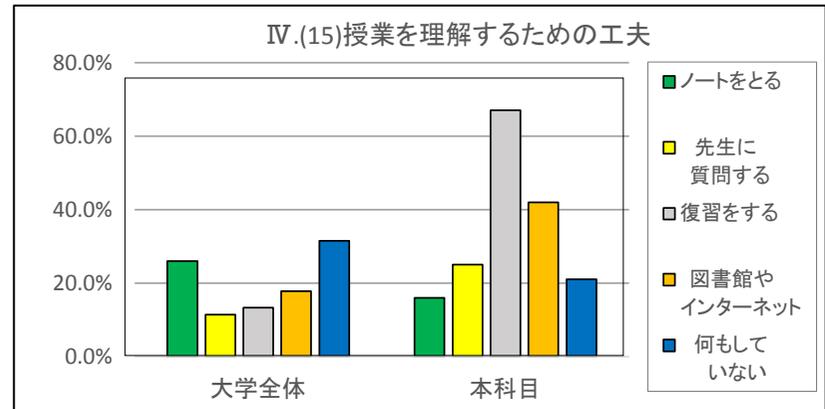


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	21.0%	42.0%	67.0%	25.0%	16.0%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.82	3.45
	I.(2)	3.79	3.56
	I.(3)	3.30	3.07
講義内容・方法	II.(4)	2.23	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.18	3.33
	II.(8)	3.39	3.42
	II.(9)	3.24	3.30
	II.(10)	3.45	3.23
	II.(11)	3.21	3.21
	II.(12)	3.48	3.48
	II.(13)	3.52	3.45
満足度	II.(14)	3.52	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.64	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.21	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.52	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	14104
科目名	教育原理B(中等)
教員名	松田 智子

①授業計画の達成度について

教育原理の初等と中等とを履修する学生が同じであるが、基本的にシラバスは同じなので、シラバスの内容を深めるように変化させた。それが、シラバス通りの授業をしていないと理解されたと考える。しかし、初等の学習の上に、さらに詳しく自分たちで調べる形で授業を勧めたので、教育思想等についての理解や興味関心は深まったと思う。

②授業の進め方について

学生個人が興味関心がある教育思想家を選び、詳しく調べプリントにして配布し、パワーポイントを作製し、10分間の説明をする授業を行った。それについての質疑応答、教師の指導助言という形で教育の本質に迫るような授業を行った。慣れてくるにつれて、学生の質問も活発になっていった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

学生の質問の質にばらつきがみられるので、説明を聞く側も簡単に調べるなどの事前準備があると良かった。